

# 令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで

特定非営利活動法人グッド

## 1 事業の成果

令和元年度は、若者（不登校ないしひきこもりなどを経験したため、またはその状態を継続しているために、一般的な就職などによる社会的な自立が困難になると予想される、または現実に困難になっている青少年を含む）を対象に、ワークキャンプ事業のプログラムとして5月、8月に広島県広島市及び安芸高田市にて、6月には長野県北安曇野群にて、農作業を行うワークキャンプを実施しました。8月には、韓国・釜山市にて日韓交流と地域のための活動を行うワークキャンプ、モンゴルにて障がい児施設の修繕作業を行うワークキャンプを実施しました。また、タイにて山岳少数民族の村の道路建設を行うワークキャンプを実施しました。4月と3月には、静岡県牧場にて、酪農作業を行うワークキャンプを実施しました。

協力プログラム事業として、日本財団学生ボランティアセンターから九州北部豪雨及び台風15号・19号の災害復興のボランティアプログラムの引率業務を受託し、9月～2月の間の12回のプログラムで192人の若者が活動に参加しました。

また東京都の「ひきこもり等の若者支援プログラム」の登録団体として、若者の仲間づくりや就労体験の場を提供するプログラムを実施しました。1年間で6名の参加者が週1回から3回程度、事務所に通所し、様々な体験活動を行いました。

共同生活寮事業として、対人関係に苦手意識を強く持ち、社会的自立が困難な若者に社会参加基礎訓練の場を提供する共同生活寮の運営を続けています。昨年度は、4名の寮生がスタッフのサポートを受けながら、自立を目指し、共同生活寮で生活しました。2名がアルバイトを始め、1名は英検の勉強を始めました。また1名は大学に通いながら就職活動をしています。寮生たちは、寮生活を通じて経験を積み、確実に成長を続けています。

また、フリースペース事業として、若者の居場所、仲間づくりや交流の場を提供するフリースペースの運営を行い、平成31年4月から令和2年3月までの間に述べ855人の若者が利用しました。

## 2 事業の実施に関する事項 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ワークキャンプ事業	5月、8月には、広島県広島市、安芸高田市にて農業体験ワークキャンプを実施。 6月には、長野県北安曇野群にて農業体験ワークキャンプを実施。 8月には、韓国釜山広域市にて国際交流と地域のための活動を行うワークキャンプを実施。 8月には、モンゴルにて障がい児施設の修繕作業のワークキャンプを実施。 8月には、タイにて道路建設のワークキャンプを実施。 4月及び3月には、静岡県のデンマーク牧場にて酪農体験のワークキャンプを実施しました。	・広島キャンプ (5月1日～5日) (8月28日～9月2日) ・長野キャンプ (6月26日～6月30日) ・韓国キャンプ (8月12日～22日) ・モンゴルキャンプ (8月7日～19日) ・タイキャンプ (8月28日～9月8日) ・静岡キャンプ (4月28日～5月2日) (3月25日～31日)	広島県広島市及び安芸高田市 長野県北安曇野郡 韓国・釜山広域市 モンゴル・オルホン県エルデネット市 タイ北部・チェンライ近郊 静岡県袋井市	5人	ワークキャンプに興味のある市民 192名	15,317

協力プログラム事業	<p>日本財団学生ボランティアセンターから九州北部豪雨及び台風15号、19号の復興支援プログラムの委託を受け、9月～2月の間に12回のプログラムを実施し、合計192人の若者の引率業務を行いました。</p> <p>東京都の「ひきこもり等の若者支援プログラム」の登録団体として、若者の仲間づくりや就労体験の場を提供するプログラムを実施し、6名の参加者が定期的に通所し、体験活動を行いました。</p>	<p>・九州北部豪雨及び台風15号・19号復興支援プログラム (9月25日～26日) (10月26日・27日) (11月9日・10日) (11月17日・23日・30日) (12月15日) (2月1日・12日) (2月23日～26日)</p> <p>・東京都・ひきこもり等の若者支援プログラム（4月～3月の間に6名の参加者が事務所に通所）</p>	<p>佐賀県大町 栃木県鹿沼市 千葉県長柄町 千葉県鋸南町 宮城県丸森町</p> <p>板橋区幸町</p>	5人	全国の若者 192人	213
共同生活寮事業	不登校やひきこもりの経験などにより、社会的自立が困難な若者に対して社会参加基礎訓練の場を提供するための共同生活寮を運営。	通年	板橋区幸町	5人	社会的自立が困難な若者 6人	7,937
フリースペース事業	若者（不登校やひきこもりの経験などにより社会的自立が困難な若者を含む）の居場所、仲間づくり、交流の場の提供。	通年	板橋区幸町	5人	キャンプ参加者、対人関係に苦手意識を持つ若者 855人	3,968
就労体験事業	不登校やひきこもりの経験などにより、社会的自立が困難な若者に対して就労体験の場を提供することを目的とした飲食業等の事業運営のための調査・準備を実施。	通年	板橋区幸町	5人	社会的自立が困難な若者 0人	0